

2011 夏休み 教育長メッセージ



遊びも勉強もたっぷりできる夏休みです。
普段の生活でできないことに挑戦し、大きく育つ夏休み
にしてください。



言葉で伝える

みなさんは、日頃から疑問を感じていること、不思議に思っていることはありますか。「なんでだろう。」「どういう仕組みだろう。」という疑問の解決にじっくり取り組むことができるのが夏休みです。決して、難しい研究をする必要はありません。自分の身近なところの「はてな？」について追究してみましょう。そして、調べたこと、体験したことを自分の言葉で表してみませんか。自分で感じたこと、考えたこと、分かったことを作文やレポート、グラフなど、学校で身に付けた表現方法を工夫して、自分の言葉でまとめてみましょう。



生活を見直す

今年は、「節電」という言葉をよく耳にしますね。どうして、「節電」が求められているのか知っていますか。

「使う電力」が「作られる電力」を超えると、とても広い範囲で停電が起きてしまうといわれています。停電になると、信号が止まったり、電車が動かなかったり、夜でも真っ暗な中で生活しなければならず、社会全体が大変なことになってしまいます。

家で過ごすことが多くなる夏休みです。毎日の生活をどのように工夫すると節電につながるのか、暮らしの中でできることを考え、家族の人といっしょに取り組んでみましょう。



地域とつながる

東日本大震災の後、お店に並ぶ品物が減ったことがありました。東北地方の産業が私たちの生活に大きく関係していることに気がついた人も多いのではないのでしょうか。私たちの生活はいろいろな人とつながっているのです。

身近な地域でも同じです。ゴミのない気持ちよい町で過ごせることや安全に暮らせることなど、当たり前になっている暮らしは家族や地域の方々に支えられているのです。清掃活動や、ラジオ体操、夏祭りなどが行われる夏休み、地域の一員として様々な行事に進んで参加し、地域の中で生きている自分を実感してみましょう。



2011 夏休み 教育長メッセージ



遊びも勉強もたっぷりできる夏休みです。
普段の生活でできないことに挑戦し、大きく育つ夏休み
にしてください。



言葉で伝える

小学校の夏休みには「自由研究」に取り組んだ経験のある人が多いのではないのでしょうか。日頃から疑問を感じていること、不思議に思っていることを調べたり、興味のあることを追究したり様々な取り組みをしたことと思います。疑問の解決にじっくり取り組むことができるのが夏休みです。ぜひ、そんな疑問の解決に今年もチャレンジしてほしいと思います。

決して、難しい研究をする必要はありません。自分の身近なところの「はてな？」について追究してみましょう。そして、調べたこと、体験したことを自分の言葉で表してみませんか。自分で感じたこと、考えたこと、分かったことを論文やレポート、グラフなど、学校で身に付けた表現方法を工夫して、自分の言葉でまとめてみましょう。

生活を見直す

今年は、「節電」という言葉をよく耳にします。どうして、「節電」が求められているのか知っていますか。

「消費電力」が「供給電力」を上回ると、とても広い範囲で停電（大規模停電）が起きてしまうといわれています。電気が止まると信号の停止、交通の混乱、工場や様々な施設の機能が停止し、社会全体が大変なことになってしまうのです。

家や社会の中で過ごすことが多くなる夏休みです。毎日の生活をどのように工夫すると節電につながるのか、暮らしの中でできることを考え、家族の人と一緒に取り組んでみましょう。

地域とつながる

東日本大震災の後、お店に並ぶ品物が減ったり、ガソリンスタンドに行列ができたり、地震の前と比べると町の様子が一変しました。日本全体が私たちの生活に大きく関係していることに気がついた人も多いのではないのでしょうか。私たちの生活はいろいろな人とつながっているのです。

身近な地域でも同じです。ゴミのない気持ちよい町で過ごせることや安全に暮らせることなど、当たり前になっている暮らしは家族や地域の方々を支えられているのです。地域の一員として、地域の行事に積極的に参加し、たくさんの人とふれ合ってみましょう。そして、何かできることからスタートして、地域の中で生きる自分を実感しましょう。



保護者の皆様へ

家族のつながりを



大事にする夏休みに

保護者の皆様には、日頃より学校の教育活動に対しご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。早いもので新学期がスタートして4ヶ月が過ぎました。

学習指導要領が改訂され、小学校では新しい教育課程に従い、新しい教科書を使った授業が始まりました。中学校では来年度からの実施に向けて準備に取り組んでいます。新学習指導要領では、「自ら考え、表現する」力の育成が重視され、学校では、今まで以上に子どもたちがじっくり取り組む時間や場を保障するとともに、考えたことや分かったことを仲間と話し合ったり、文章等で表現したりする授業について工夫しているところです。

また、東日本大震災に関連して、この1学期の間、命の尊さや他人を思いやる気持ちについて話し合いを行ったり、節電にかかる取組を実施したりするなど、様々な教育活動を展開してまいりました。あわせて、今後大地震が発生した場合を想定した安全対策を見直すとともに、子どもたちの下校に関する対応を検討しているところです。保護者の皆様には、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、子どもたちにとって心待ちにしていた夏休みが始まります。子どもたちの健やかな成長には、学校、家庭、地域の連携・協力が不可欠です。特に夏休みは、子どもたちが家庭、地域で過ごす時間が長くなります。時には、子どもの言葉にゆったりと耳を傾け、家族の心をつなぐひとときを過ごしてみませんか。ご家庭で意識して取り組んでいただきたいことを4つにまとめましたので、家族での話題にしてみてください。

- 1 親子で、感動を言葉で分かち合う。
- 2 生活を見直し、効果的な節電対策を行う。
- 3 地域の方々と積極的に交流する。
- 4 非常災害時に備え、家族で話し合う。

健康と安全に気をつけて、思い出に残る夏休みをご家族でお過ごしください。

なお、子どもたちに向けたメッセージを作成いたしました。ぜひ、趣旨をご理解いただき、ご家族で取り組んでみてください。

平成23年 7月 20日

相模原市教育委員会 教育長 岡本 実